



並木中等story

令和3年7月1日号

気持ちを聴く、事実を聞く

人は話を聴いてもらえるとホッとすることがあります。その一方で、たくさん話したのに疲れただけと言う時もあります。何が違うのでしょうか。私が教育相談で学んだことです。疲れた時は、話し手が“私の気持ちが伝わらなかった”と感じている時です。逆に、話し手がホッとしたり、気持ちが明るくなったりした時は“気持ちが伝わった”と感じている時です。

では、“気持ちが伝わる”とはどのようなことでしょうか。まず、話をしても、事実（5W1H）を伝えているだけでは、話し手は“話をした”“聴いてもらった”とはなり



りづらいでしょう。**焦点を話し手の気持ち、感情に当てる必要があります。**「その時は大変だったのですね。」「とても悲しい思いをしたのですね。」又は「その時の気持ちはどうだったのですか。」このように、**事実よりも、思っていることや感情を聴いてあげられると、話し手は“聴いてもらった”となります。**皆さんも困っている人や落ち込んでいる人の話し相手になってください。人は気持ちを話せると楽になれるものです。

《並木中等の生徒会役員選挙で 日本初のインターネット投票を実施！》

7月7日につくば市と共催で日本初のインターネット投票を実施します。これはつくば市のスマートシティー構想に協力し、本校の生徒会役員選挙でインターネット投票の実証実験を行うものです。これには、文部科学省、筑波大学、茨城県教育委員会、KDDI社、LayerX社、xID社の協力を得ています。

